



刃物鍛冶、たたら源流へ

たたら製鉄と鍛冶は

古来より脈々と受け継がれてきた

日本のモノづくりの原点といえる技術です。

この伝統技術が、そして技術が育んだ多様な文化が

今、大量消費の波に失われようとしています。

これらを今後、どのようにしたら生き生きと再生させ

市民の誇りに高めていけるか？

それを地域活性化に役立てていくためには

何が大切になるのか？ たたらの聖地・雲南に

全国から集う第一線の鍛冶職人たちとともに、それを考えます。

たたら×鍛冶 サミットin島根

フォーラム

「たたらと鍛冶の未来を語ろう」

◎開会 10:00

あいさつ 雲南市たたらプロジェクト会議 会長
日本鍛冶学会 会長

◎基調講演 10:20

「日本のものづくりの原点～たたらと鍛冶の魅力と価値～」

佐藤重利(刀匠・日本鍛冶学会顧問)

◎パネルセッション 11:00

「たたらと鍛冶の技術と文化を、市民の誇りに高めていくために」

～ 伝承地域の連携による、新たな価値創造の可能性 ～

[登壇者]

山本和臣氏(日本鍛冶学会会長、新潟県三条市)

河村幸祐氏(日本鍛冶学会副会長、大阪府堺市)

迫田 剛氏(日本鍛冶学会監事、高知県須崎市)

峠 理恵氏((公財)鉄の歴史村地域振興事業団事務局長)

引野道生氏(山陰中央新報社) ほか

2018

10.20(土)

島根県雲南市吉田町

10:00～12:00

会場: 吉田町生涯学習交流館

参加費: 無料《要予約》

<http://unnan-tatara.jp>

主催: 雲南市たたらプロジェクト会議 / 日本鍛冶学会

共催: よしだ農都交流推進協議会 / 後援: 雲南市、雲南市教育委員会、三条市、(公財)鉄の歴史村地域振興事業団、鉄の道文化圏推進協議会、(一社)雲南市観光協会

お問合せ: 雲南市政策企画部政策推進課(担当: 山本) TEL:0854-40-1011 島根県雲南市木次町里方521-1

雲南市吉田町本町通りが、 たたらと鍛冶のコラボ・ワールドに！

本町通り・博物館めぐり

吉田町本町通りに、全国の刃物産地からの展示物を集めた特設展示場がオープン。
鉄山師・田部家の白壁土蔵群や、鉄の歴史博物館とともに、町歩きをしながら
お楽しみください！

◎展示会場 10:00～16:00

◎鉄の歴史博物館 9:00～17:00(入館料:一般510円、小中250円)

※吉田町観光案内所「稲わら工房」で、町歩きガイドマップを配布しますので、
ぜひご利用ください。



雲南市。
文化の源流、

たたら製鉄の遺構を全国唯一残す「菅谷高殿」では1751年から170年間の長きにわたって操業が続けられました。そのほかにも、神楽の主流の一つと言われる出雲神楽や、古代青銅器の大発見があった加茂岩倉遺跡など、雲南市には先人達が遺してくれた歴史的、文化的な源流であることの証がところどころに見られます。



菅谷高殿(すがやたかどの)

全国で唯一現存する高殿様式で、「国の重要民俗文化財」に指定されています。

地元中学生が鍛冶に挑戦！

日本鍛冶学会会員の指導により、大東・吉田の中学生を対象にした鍛冶体験を実施します。鍛冶の奥深さを知るよい機会なので、ぜひ見学ください！

時間:13:30～16:00 会場:稲わら工房広場

《日本鍛冶学会とは》 全国の刃物産地の鍛冶職人たちが、技術や情報を共有しながら日本の鍛冶の伝統を継承し、その価値を問い直して地位向上を目指すために組織された団体であり、業界を取りまく諸課題を解決するために様々な活動を行っています。

フォーラム参加申し込み:

フォーラムに参加ご希望の方は事前に申し込みが必要です。

下記サイトのエントリーフォームにてお申し込みください。

<http://unnan-tatara.jp>

お昼のお弁当は予約制です！

会場周辺には昼食をとれる店がほとんどなく、弁当を購入できるコンビニ等もないため、フォーラム参加者には弁当(有料)を用意します。ご希望の方は、エントリーの際にあわせてご注文ください。



出雲神楽

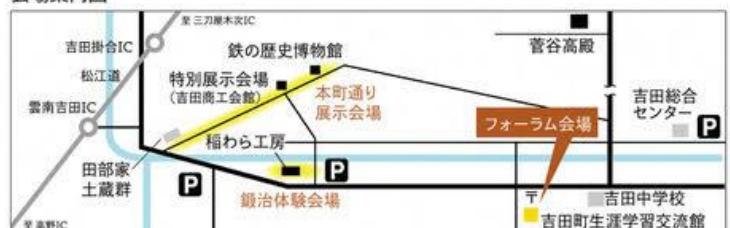
出雲神楽は多くの神話を元に神楽を奉納し、その舞は神事に沿うように緩やかに舞われます。



加茂岩倉遺跡(かもいわくらいせき)

平成8年、加茂町岩倉で、弥生時代と思われる大量の銅鐸が出土し、一カ所の出土としてはこれまで全国最多の39個が確認されました。

会場案内図



《吉田町へのアクセス》

□山陽方面から:中国道 三次東IC→中国やまなみ街道(松江道)→雲南吉田IC下車5分

□松江・出雲方面から:山陰道 宍道JCT→中国やまなみ街道(松江道)→吉田掛合IC下車10分